

2016年3月期 第2四半期

(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

MUTOH

決算説明資料



銘柄コード：7999



2015年11月
MUTOHホールディングス株式会社

MUTOH :目次

【 概況説明 】

- 業績比較(1)
 - P/Lハイライト(2)～(3)
 - P/L分析(4)
 - B/Sハイライト(5)
 - セグメント情報(6)
- ## 【 通期業績予想 】(7)
- ## 【 IR基本情報 】(8)
- ## 【 トピックス・製品情報 他 】(9)～(14)



- ・本資料は、2016年3月期 第2四半期時点決算情報の提供を目的としたものです。
- ・本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。また、今後予告なしに変更する場合があります。
- ・本資料のいかなる部分も一切の権利はMUTOHホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行なわないようお願い申し上げます。

MUTOH 業績比較

(百万円未満切捨て)

	前年数値	当初予想数値
	2015年3月期 第2四半期	2015.5.15 開示
売上高	11,467	11,500
営業利益	876	350
経常利益	928	350
当期利益	2,443	200



実績	実績差額			
	対前年		対予想	
11,375	△91	△0.8%	△125	△1.1%
264	△612	△69.9%	△86	△24.6%
237	△690	△74.5%	△113	△32.3%
0	△2,442	△100.0%	△200	△100.0%

* 売上高

米国景気が堅調に推移する中、他地域では欧州における地政学リスクによる景気減速や長らく世界経済を支えてきた中国の景気減速が鮮明になり、国内景気においても実態経済下での停滞感は日々強くなるなど経済全体の不透明感が強くなっています。このような状況下において、当社は欧州など一部地域において影響を受けました。

①. 対前年比較(△91百万)

情報画像関連機器事業において、主力製品である大判インクジェットプリンタでは一部新製品の発売時期の遅れの影響はありながらも堅調に推移はしたものの、特に3Dプリンタ事業ではパーソナルタイプの価格下落傾向が鮮明になるなど総じて競争激化の影響から減収となりました。

②. 対予想比較(△125百万)

上記、対前年比較理由によります。

* 営業利益、当期利益

営業利益では、売上高同様に安定した為替円安環境はあるものの、主力製品である大判インクジェットプリンタの一部主要部品の価格上昇と競争激化による販売価格の下落などの影響による粗利率の低下に加えて、3Dプリンタ関連等、先行した開発投資の増加などを要因として、対前年および予想ともに減益となりました。

①. 営業利益 対前年△612百万、対予想△86百万。

(当初予想比較)

安定した為替円安環境下でありながらも売上高要因に加えて、開発投資など販管費の増加に伴う影響から減益となりました。

②. 当期利益 対前年△2,443百万、対予想△200百万。

(当初予想比較)

繰延税金資産の見直しに伴う取崩額の増加により法人税等調整額が当初見込みを大きく上回りました。

MUTOH P/Lハイライト(前年比較)

(百万円未満切捨て)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年増減		概 況
			金額	比率	
■ 売上高 :	11,467	11,375	△91	△0.8%	
売上原価	7,075	7,246	+170	+2.4%	・原価率63.7%→+2.0%
販管費	3,515	3,865	+350	+10.0%	・販売費+101百万、一般管理費+248百万
■ 営業利益 :	876	264	△612	△69.9%	売上要因および販管費(開発費等)の増加
営業外収支	+52	△26	△78		・持分法投資損失35百万 等
■ 経常利益 :	928	237	△690	△74.4%	
特別利益	2,773	100	△2,672		遊休資産(仙台土地)売却益83百万円の計上他
特別損失	5	2	△3		
■ 当期利益 :	2,443	0	△2,442	△100.0%	

・減価償却費：242百万、開発費：884百万(+257百万)
 ・決算換算為替：US\$121.88円(前年18.78円 円安)、EUR135.10円(前年3.80円 円高)

MUTOH P/Lハイライト(計画比較)

(百万円未満切捨て)

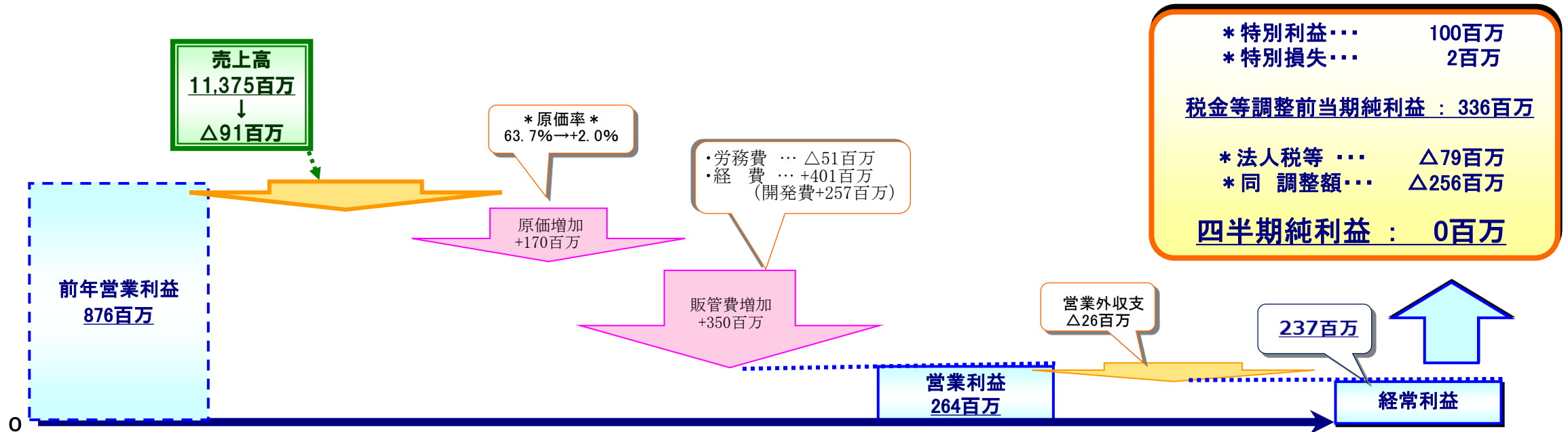
	2016年3月期 当初計画	2016年3月期 第2四半期	計画増減		概 況
			金額	比率	
■ 売上高 :	11,500	11,375	△125	△1.1%	
売上原価	6,987	7,246	+259	+3.7%	・原価率63.7%→+2.9%
販管費	4,163	3,865	△298	△7.2%	・開発費△132百万他
■ 営業利益 :	350	264	△86	△24.6%	主に販管費の増加
営業外収支	+0	△26	△26		・持分法投資損失35百万 等
■ 経常利益 :	350	237	△113	△32.3%	
特別利益	0	100	+100		遊休資産(仙台土地)売却益83百万円の計上他
特別損失	0	2	+2		
■ 当期利益 :	200	0	△200	△100.0%	

・開発費：対計画△132百万（計画値 1,015百万）
 ・決算換算為替：US\$対計画 13.88円 円安（計画値 108.00円）、EUR対計画 7.10円 円安（計画値 128.00円）

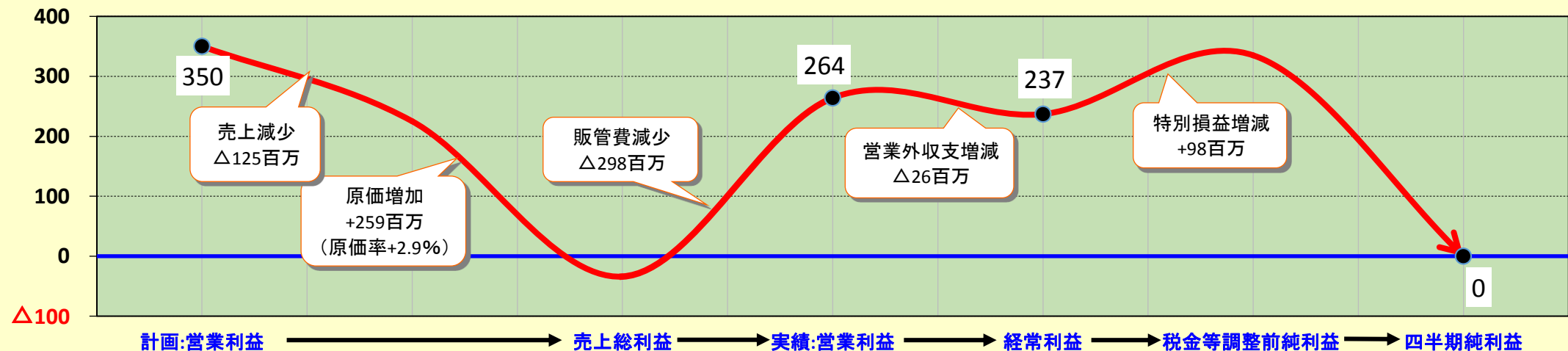
MUTOH P/L分析(イメージ)

【前年対比】

(百万円未満切捨て)



【計画対比】



MUTOH B/Sハイライト

(百万円未満切捨て)

区 分	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	前期末増減		概 況
			金額	比率	
現 預 金	8,597	8,619	+22		・営業CF:+1,386百万円、投資CF:△1,297百万円、財務CF:△382百万円 他 ・売掛金の減少 ・部品、仕掛:+79百万、製商品:+310百万 ・繰延税金資産:△189百万、未収入金△486百万 他
売掛債権	4,295	3,729	△566		
在 庫	5,533	5,923	+390		
そ の 他	2,137	1,268	△868		
■ 流動資産計 :	20,563	19,542	△1,021	△5.0%	
有形固定資産	8,395	9,023	+627		・新規投資1,198百万、減価償却242百万円他 ・繰延税金資産:△10百万、投資有価証券:+107百万 他
無形固定資産	197	316	+118		
投資その他資産	2,870	2,899	+28		
■ 固定資産計 :	11,463	12,238	+775	+6.8%	
■ 資産合計 :	32,027	31,780	△246	△0.8%	
買掛債務	3,036	3,156	+119		・買掛金:△104百万、支払手形:+224百万
短期性借入金	-	-	-		
そ の 他	2,142	2,139	△3		
■ 流動負債計 :	5,179	5,295	+116	+2.2%	
長期性借入金	-	-	-		
そ の 他	1,787	1,761	△25		
■ 固定負債計 :	1,787	1,761	△25	△1.5%	
■ 負債合計 :	6,966	7,057	+91	+1.3%	
■ 純資産合計 :	25,061	24,723	△337	△1.3%	・自己資本比率:75.2%→△0.3%
■ 負債・純資産合計 :	32,027	31,780	△246	△0.8%	

MUTOH セグメント情報

①. 売上高

(百万円未満切捨て)

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年増減	
	売上高	比率	売上高	比率	増減	比率
アジア	4,126	36.0%	4,008	35.3%	△117	△2.9%
北アメリカ	1,791	15.6%	2,164	19.0%	+373	+20.9%
ヨーロッパ	3,556	31.0%	3,148	27.7%	△408	△11.5%
情報画像関連機器計	9,474	82.6%	9,321	82.0%	△152	△1.6%
情報サービス	1,077	9.4%	1,068	9.4%	△9	△0.9%
不動産賃貸	132	1.2%	127	1.1%	△5	△3.9%
その他	783	6.8%	858	7.5%	+75	+9.6%
合計	11,467		11,375		△91	△0.8%

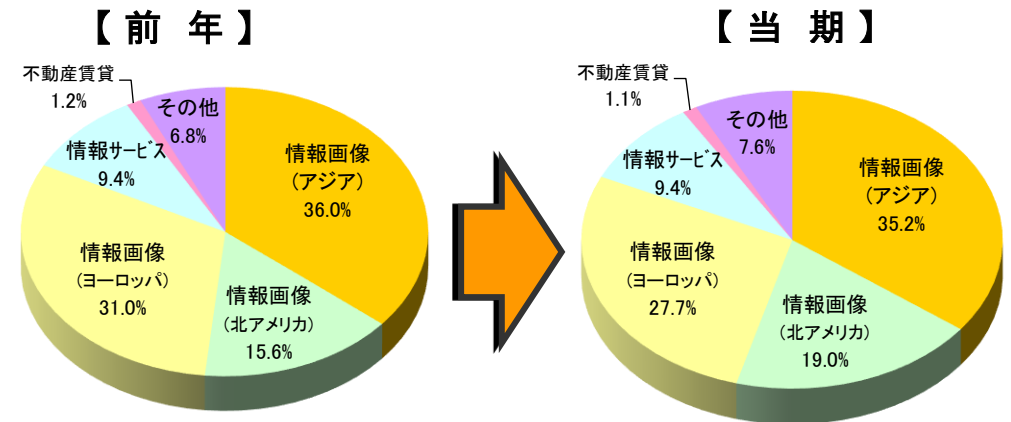
- ・アジア…総じて、大判インクジェットプリンタの販売は堅調に推移しながらも、3Dプリンタにおける価格下落の影響により減収となりました。
- ・北米…景気動向の好転に加え円安効果により増収となりました。
- ・欧州…地政学リスク等による景気停滞と円高傾向による影響から減収となりました。
- ・情報サービス/不動産賃貸…概ね前年並みの推移となりました。
- ・その他…新事業への取組み等、積極的な販売活動により増収となりました。

②. セグメント利益

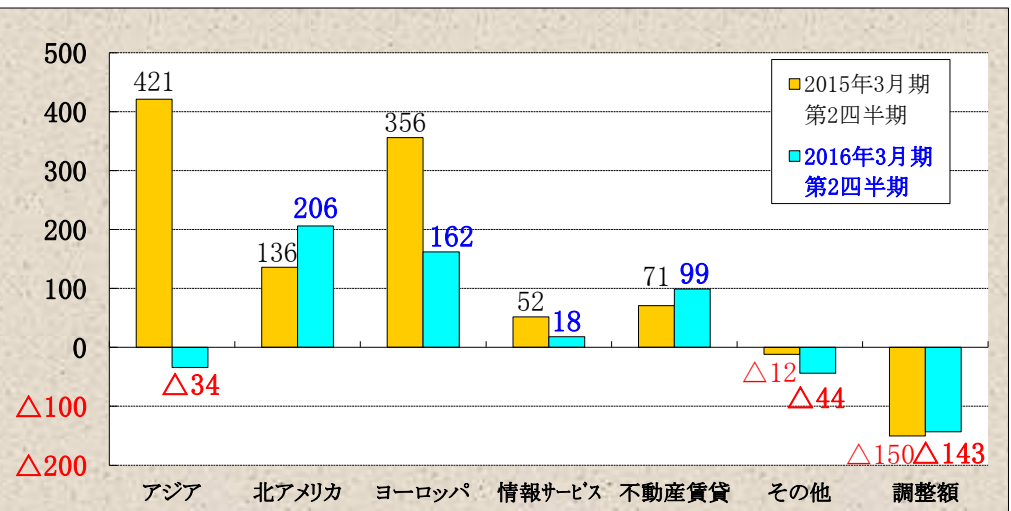
(百万円未満切捨て)

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年増減	
	利益	比率	利益	比率	増減	比率
アジア	421	48.0%	△34	△12.9%	△456	—
北アメリカ	136	15.6%	206	78.0%	+69	+51.2%
ヨーロッパ	356	40.6%	162	61.4%	△194	△54.5%
情報画像関連機器計	915	104.4%	334	126.5%	△580	△63.6%
情報サービス	52	6.0%	18	6.8%	△34	△65.2%
不動産賃貸	71	8.1%	99	37.5%	+27	+38.4%
その他	△12	△1.3%	△44	△16.7%	△31	—
調整額	△150	△17.2%	△143	△54.2%	+6	—
合計	876		264		△612	△69.9%

【売上高】



【営業利益】



MUTOH 通期業績予想について

【連結業績】

単位:百万円

	実績 2015年3月期	前年実績対比		
		2016年3月期 (2015.5.15 開示)	前年実績差額	
売上高	23,475	26,000	+2,525	+10.8%
営業利益	1,306	1,300	△6	△0.5%
経常利益	1,354	1,350	△4	△0.3%
当期利益	2,684	850	△1,834	△68.3%

通期業績予想については、現在新たに算定中であり今後明確になり、修正の必要性があると判断され次第、開示をいたします。

【配当予定】

単位:円

	実績 2015年3月期	次年度予定	
		2016年3月期	前年差額
中間	0.0	0.0	-
期末	7.0	7.0	0.0
(普通配当)	7.0	7.0	0.0

連結業績について

- 経営環境 -

東欧や中東地域などの政情不安による地政学リスクの長期化が強く懸念され、さらに長らく世界経済を下支えしてきた中国景気の減速が鮮明になるなど景気後退リスクの顕在化による世界経済減速懸念が増幅しています。



通期業績予想：

依然として不透明な世界経済情勢が継続しているものの、第2四半期累計期間では安定した為替円安の環境下の基、主力製品である大判インクジェットプリンタは地域のバラツキはありながらも総じて堅調に推移しました。しかし、第2四半期後半以降、中国経済の減速や欧州地域での政情不安による地政学リスクの増大などが鮮明になり、堅調に推移している米国経済においても金融緩和終了後の景気減速懸念など、世界経済はますます不透明感が増幅している状況です。

このような状況の中、通期業績予想については景気減速懸念による市場動向の不透明感等、不安定な要素が多く、合理的に業績を予想することが困難であることから、現在算定中であり、今後明確になり修正の必要性があると判断され次第、速やかに開示をさせていただきます。

ご参考

現予想における為替レート(期中平均)
USD108.00円 / EUR:128.00円

MUTOH IR基本情報

①.会社情報

会社形態	前年 (2015/3末)	当期 (2015/9末)
組織形態	監査役会 設置	監査等委員 会設置
取締役定款数	10名	←
取締役数(当期→業務執行取締役)	8名	←
内、社外取締役	0名	←
監査役定款数(当期→監査等委員取締役)	4名	←
監査役数(当期→監査等委員取締役)	3名	←
内、社外監査役(当期→監査等委員取締役)	2名	2名(独立)
1単元株式数	1,000株	←
買収防衛策の導入	未導入	←

株主数		前年 (2015/3末)	当期(2015/9末)	
			株主数	株主比率
単元株主数	政府公共団体	0名	0名	0.0%
	金融機関	26名	26名	0.4%
	事業法人	129名	117名	1.8%
	証券会社	39名	29名	0.5%
	外国人	45名	59名	0.9%
	個人	5,329名	4,741名	74.4%
	計	5,568名	4,972名	78.0%
単元未満株主数		1,436名	1,399名	22.0%
株主数合計		7,004名	6,371名	100.0%
参考:外国人持株比率		1.24%	1.74%	

②.資本/株式情報

株式情報		前年 (2015/3末)	当期 (2015/9末)
発行済株式数	千株	54,818	54,818
自己株式	千株	8,924	8,929
直近(自己株式控除後)	千株	45,894	45,889
自己株比率		16.3%	16.3%
時価総額(自己株式控除後)	百万円	19,918	12,987

株価情報		前年 (2015/3末)	当期 (2015/9末)
期末株価	円	434	283
決算年度安値	円	401	260
決算年度高値	円	579	448

③.決算情報

BS情報		前年 (2015/3末)	当期 (2015/9末)
現預金+有価証券	百万円	8,597	8,619
投資有価証券	百万円	2,328	2,412
総資産	百万円	32,027	31,780
金融資産比率(金融資産÷総資産)		34.1%	34.7%
自己資本比率		75.5%	75.2%

PL情報(収益性)		前年 (2014/9末)	当期 (2015/9末)
営業利益率	%	7.6	2.3
経常利益率	%	8.1	2.1
当期利益率	%	21.3	0.0
株主資本利益率(ROE)	%	9.7	0.0
総資産事業利益率(ROA)	%	2.7	0.8

トピックスI
大判インクジェットプリンタのMUTOH!

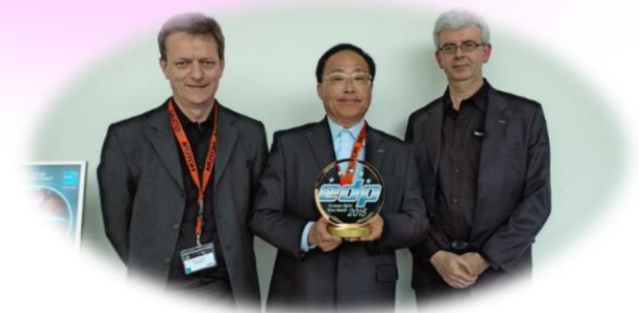
ドイツ Fespa 2015 ケルン



「Best Multipurpose Object Printer」部門でEDPアワードを受賞!

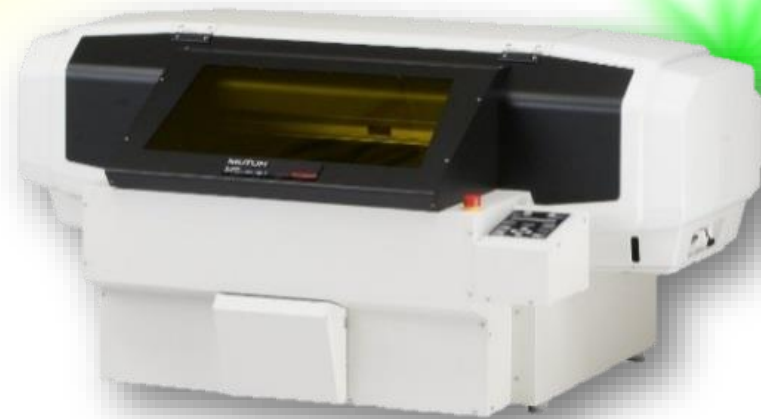
(EDP: European Digital Press Association)

MUTOH Belgium nv



デスクトップサイズUVプリンタ

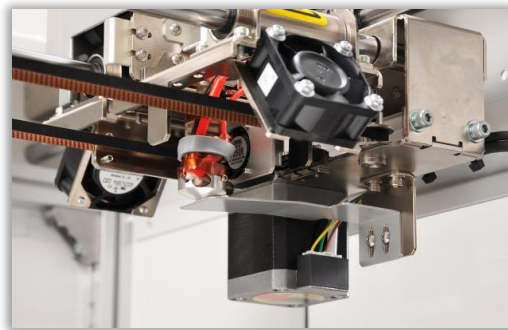
『VJ-426UF』



パーソナル3Dプリンタ『MF-2200』登場!

MUTOH新開発ヘッドで造形スピード 約1.2倍(当社比)
300×300×300mm、50 μ mの大型・高精度造形を高速で実現

**Value
3D MagiX**



独自新開発ヘッド
ダブル冷却ファン搭載



デュアルキャリッジ方式採用



2つのヘッドを個別に制御するデュアルキャリッジ方式、
Z軸・昇降テーブル駆動方式を採用

生産タイプ

“アーク溶接”方式を採用した新しいコンセプトの金属3Dプリンタ!

安価で手軽に「ニアネットシェイプ造形」

※ニアネットシェイプ造形:

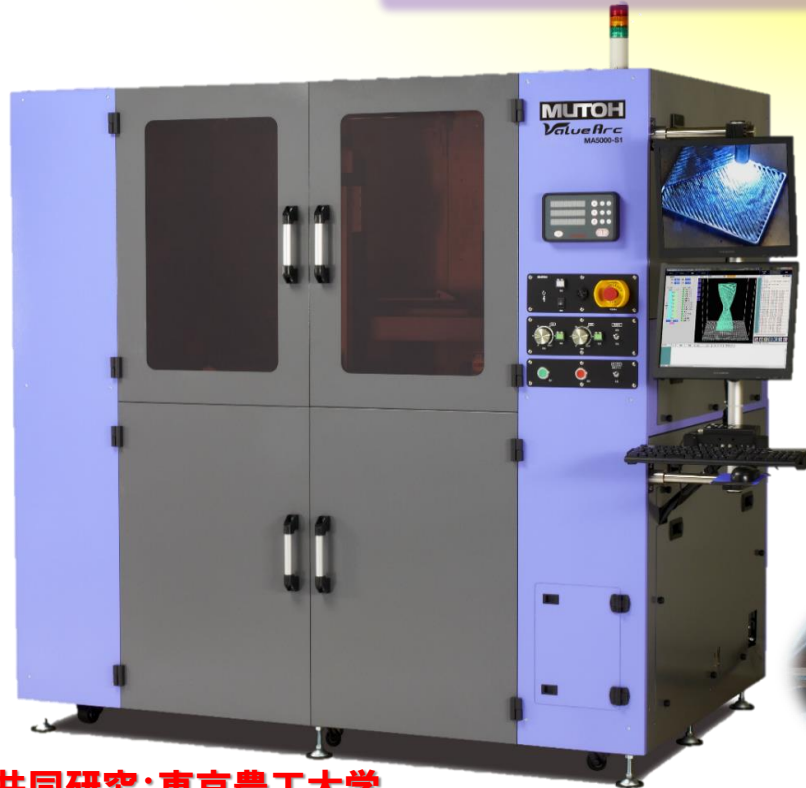
概略の形状を造形すること。
造形物は、その後切削加工で所定の精度に仕上げられます。
これにより従来の製作方法に比べ、期間とコストを大幅に圧縮できます。



アーク溶接での造形物



切削加工後の完成品例

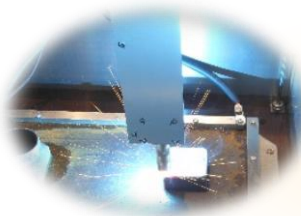


高速・高強度・低コストを実現!

- ・アーク溶接方式だから高出力・高速造形が可能
- ・強度は通常のアーク溶接に準じ、バルク材並み
- ・市販の溶接ワイヤを造形材料として使用
 - 低コスト
 - 豊富な物性データ
 - 取り扱い、管理が容易
- ・既存部品に付加造形が可能



付加造形サンプル



Value Arc

MA5000-S1

トピックスIV

3DプリンティングのMUTOH!

武藤工業株式会社

エンブラ出力が可能になった 大型樹脂溶解型3Dプリンタ

500mm角造形、小ロットの製造から、大型テーブルを活かした多数個取りまで、あらゆるニーズに威力を発揮！
ACサーボモータ採用で造形精度が格段にアップ！

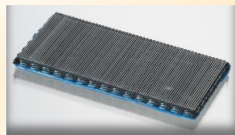
新開発タフヘッド搭載でエンブラでの造形や高速化に対応！



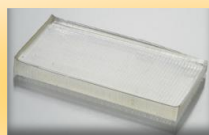
新たな素材を生み出す

「Bi-Matrix構造造形」対応！

MUTOH独自開発となる「Bi-Matrix構造造形(特許申請済)」は、複数の樹脂材を個別に吐出する事で、Main-Matrix樹脂とSub-Matrix樹脂の両特性を持ち合わせた構造体を作成する造形手法です。例えばMain-Matrix樹脂にナイロン、Sub-Matrixに エラストマーを使用するとナイロンの持つ機械強度とエラストマーの柔軟性をあわせ持った今までに無い特性を実現した材料を形成する事が可能となります。また、複合化構造の内部で材料の比率を連続的に変更する事で、界面の無い傾斜構造体の実現も可能です。



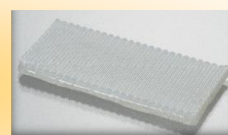
ABS+エラストマー構造体



PC+エポキシ構造体



ナイロン+エラストマー構造体



ナイロン+エポキシ構造体



Value 3D Resinoid

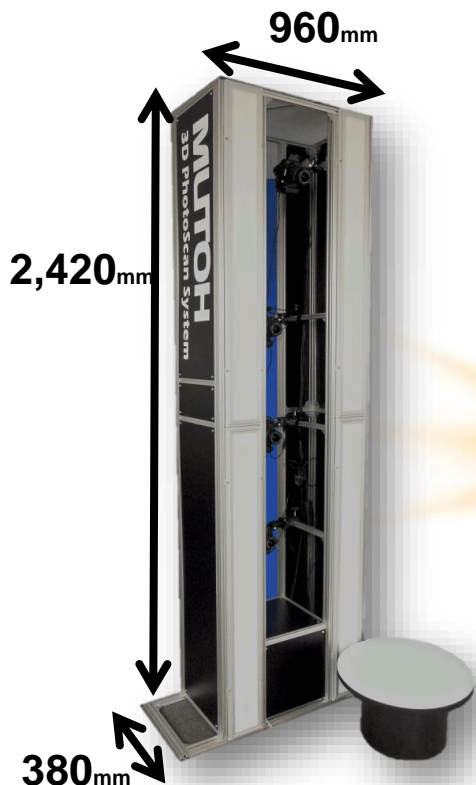
MR-5000

トピックスV

3DプリンティングのMUTOH!

武藤工業株式会社

全身撮影用3Dスキャナー 【3D PhotoScan System MS-2000N】



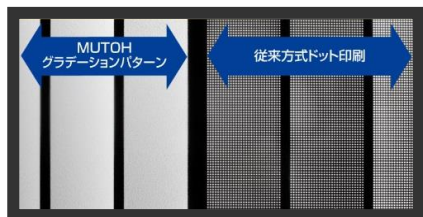
- **かんたん撮影!** スキャン時間が早い
回転テーブルの上に **約30秒間** 静止しているだけで自動撮影します。
- **高品質/高解像度**
独自開発の同時シャッターユニットでコントロール。全周囲100枚以上の画像を撮影し、**高品質で高解像度**な3Dデータを作成します。
- **省スペース**
わずか **2×1mの省スペース** で撮影ができます。



さまざまな思い出創りのお手伝い!

お祝い・各種記念行事に3Dフィギュアでワンランク上の記念品を提供

大型導光板活用商品のオーダーメイド受注開始! 株式会社ムトーエンジニアリング



MUTOHグラデーションパターンを採用した導光板は、これまでのドット印刷の導光板に比べて、拡散板が不要となり、オンデマンド印刷が可能になるなどの高い優位性を持つことから、さまざまな用途への展開が期待されています。



「屋外用大型LED看板(薄型防滴仕様)」

「大型LED検査台」

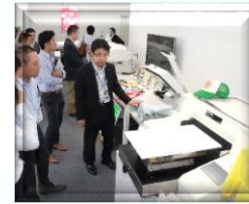
「A1サイズ透写台」

独自開発のインクジェットによるダイレクト印刷技術
『MUTOHグラデーションパターン(特許取得済)』
を応用した、大型導光板活用商品



中部営業所（名古屋）移転！

最新の大判インクジェットプリンタ・3Dプリンタ製品を揃えたショールームを併設いたしました。皆様のご来場をお待ち申し上げます。



住所: 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-8 アーバンネット布施ビル1階 電話: 武藤工業(株) 052-930-0610 / (株)ムトーエンジニアリング 052-930-3610

MUTOH

ディスクロージャーポリシー

■ディスクロージャーの方針

当社は、株主・投資家の皆様に正確かつ公平な情報を提供するため、証券取引法および東京証券取引所の定める適時開示規則に基づく重要事項を迅速に公開するほか、当社を理解していただくうえで有効と考えられる会社情報につきましても、積極的に開示するように努めております。

■情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する重要情報の開示は、東京証券取引所への事前説明の後、東京証券取引所の提供する適時開示情報開示システム (TDnet) にて公開しております。

公開後は、速やかに開示情報を報道機関に提供し、また当社ホームページ上にも掲載いたします。

また、東京証券取引所の適時開示規則に該当しない情報を開示する場合にも、報道機関や当社ホームページなどを通じて、株主・投資家の皆様にできるだけ公平かつ迅速にお伝えできるように努めております。

■将来の見通しに関して

当社では、東京証券取引所に提出する業績予想や、当社ホームページに記載しております当社の業績予想、計画、戦略など将来の業績に係る見通しについては作成された

時点で入手可能な情報に基づき一定の前提の下で当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

したがって、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

■沈黙期間について

当社では、決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、本決算、中間決算、四半期決算の決算期日の翌日から決算発表日までを沈黙期間としております。

この期間は、決算に関するコメント・質問への一切の回答を控えさせていただきますのでご了承ください。

ただし、沈黙期間中に「ディスクロージャーの方針」に基づく情報開示が必要になった場合は、上記の「情報開示の方法」により速やかに情報開示を行います。

■情報開示をお断りする場合

当社では、競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報に関するお問合せにお答えできない場合がありますのでご承知ください。

MUTOH